

ゴルフ場廃絶計画の具体化を

提言案（021129版）p4-15（4）高水敷利用には

「高水敷に設置されているゴルフ場やグラウンド等の施設は、本来、堤内地に設置されるべきものであり、長期的には堤内地に戻していくことを目標とする。」

とありますが、全くそのとうりだと考えます。

しかしこのゴルフ場は「柵・塀などを設置して他に使用させないといった独占的・排他的利用」をしているのが実態なのだから、一刻も早く廃絶すべきだと考えます。ましてゴルフ場は（河川管理者の定義では）“野草広場”です。芝生は野草ではありません。ゴルフ場を本来の“野草広場”に戻すのは当然すぎるほど当然と言えるのではないのでしょうか。

私は鶴殿の高水敷が切り下げられてヨシ原が回復されることを期待していますが、オギやセイタカアワダチソウ・カナムグラなどが優勢となっている現状の鶴殿でも、町中アスファルトで固められた環境で生活している子供達にとっては「天国」なのです。別紙は鶴殿に“学習”しに来た大阪市内の小学校五年生の感想文です。子供達がバックやカマキリなどを見つけて、喜々として捕まえている姿を見れば、鶴殿だけでなく、もっと高水敷に“文字通りの野草広場”を取り戻してやりたいと願わずにはおられません。

流域委員会の皆様、河川管理者の皆様、そして自治体の皆様！未来を担う子供達のためにゴルフ場の廃絶計画の具体化に力を貸して下さい。

